



野田小だより

学校教育目標

- がんばる子
- やさしい子
- 学びつづける子

7月 きっかけ

平成28年 7月 1日

校長 三澤 仁生

晴れば夏日、降れば大雨と、不安定な今年の梅雨ですが、保護者、地域の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、5月2日の種籾まきから5年生が育ててきた苗を使っての全校田植えが、6月1日（水）に行われました。

今年は、昨年より田の面積が広がったとともに、苗を植える間隔が狭くなったので、植える苗の本数が大幅に増えましたが、多くのお母さん方の協力で、大変スムーズに植えることができました。これから9月後半の稲刈りまでの約4か月の間に、大きく育ててくれるのが楽しみです。

また、6月12日（日）のPTA環境整備では、多くのお父さん方にも参加していただき、整備された緑あふれる学校にさせていただきました。ありがとうございました。

6月3日（金）から5日（日）は、5年生のたかつえ自然の教室でした。昨年度までの赤城自然の教室では、スキー体験が中心でしたが、今回、フィールドワーク、キャンプファイヤー、ゲレンデトレッキング、イワナさばき、焼き板づくり、ナイトハイク、ネイチャークラフトと、多くの活動を行うことができました。

その中で、特に大きな成果を感じたのがイワナさばきの活動でした。

普段、私たちは、誰かに加工してもらった物を食べているので、食べる物の「命を頂く」ということを意識せずになっています。ですから、「食べ残す」＝「自分に与えてくれた命を無駄にしている」とは思いません。

今回、生きているイワナを自分の手で食べられる状態にさばくことで、「命を頂く」＝「頂きます」の意味を実感したようです。その結果、今まで、魚を食べ切れたことが無い児童を含めて、全員がイワナを頭からすべて食べることができました。（頭が1つも残らなかった学校は初めてだそうです）

どうやら、今回のたかつえ自然の教室は、児童の変化のきっかけの一つになったようです。



全校田植え



環境整備



田の草取り



↑ゲレンデトレッキング/イワナさばき↓

